

一般社団法人日本スナイク協会  
令和7年臨時理事会及び社員総会 議事録

1. 日時：令和7年10月20日（月） 19:00~20:00

2. 場所：zoom オンライン会議

3. 出席者： 笹井副会長、内田副会長、杉山理事、富松理事、大石理事、関口理事、石川理事、  
木下理事、吉田東北水域代表、内田関東水域代表、  
石川中部水域代表、西村琵琶湖水域代表、木下関西水域代表、岡田四国水域代表、  
吉岡九州水域代表

欠席者： 西居会長、藤田北海道水域代表、出野北陸水域代表、河田中国水域代表、古賀監事、  
渡部監事

議事進行： 笹井副会長

4. 報告事項

第1号報告 各水域 活動状況について

・岡田四国水域代表 7月二予選を開催し2校2艇が全日本スナイクに参加した。各県1校ずつヨット部がある大学のうち徳島大学が現在ハーバー利用できず、高松で合同練習を開催している。各校とも部員が増えつつあるので、さらに活性化出来れば良いと考えている。

・石川中部水域代表 3大会、ポイント制にて開催。大学生も増加傾向、大学卒業後、社会人となり、チャーターしてスナイクを乗り続けているセーラも増えている。また、アジア大会プレイベントでは、お手伝いを頂き有難うございました。来年度の予選においては、海陽ヨットハーバーが使用出来ない時期がある為（まだ正式な時期は未定）場所も時期も調整が必要である。

・吉田東北水域代表 会員に大きな変化はなく、会員数は昨年並み。イベントとしては青森国スポのプレ大会として全日本実業団が開催されました。会員が増えて水域が盛り上がるよう取り組んでいく。

・内田関東水域代表 今年度は来月に全日本MIX・Jr大会が開催予定ではあるが、シニア、女子ワールド江の島開催にご協力頂き御礼申し上げます。関東の大会におきましては、5大会とも70艇を超える大会をなり盛況に終えることができました。（168枚デコール配布済み）

・吉岡九州水域代表 今年度、全日本選手権フリート枠におきましては皆様にご迷惑をかけ申し訳ございませんでした。また皆様のお心遣い有難うございました。GWに西日本ヨットウィークを開催しました。学生が少し減っているが、日経大がスナイクの活動を積極的に行っている。また、実業団は、福岡造船ほか、新たな実業団も参加予定があり、水域の活動に引き続き力を注いでいきます。

・木下関西水域代表 6/14, 15関西スナイプ選手権に42チーム参加。水域枠全てのチームが全日本スナイプ出場。（報告事項）今度期末をもって木下の辞任→後任に森谷幸雄さん（グッドホールディングス所属）を推薦します。次の会議の機会に紹介させて頂き随時、業務を引き継いで参ります。森谷さんから暫くはサポートを頼まれていますので、出来る限りサポートさせて頂きます。皆様、長い間大変お世話になりました。来年度以降、森谷さんをよろしくお願い致します。

## 5. 協議事項

第1号協議 全日本4大会の開催地、日程について（アジア大会の影響の共有）

（笹井副会長）

全日本ミックス・ジュニアに関して、木下関西水域代表からインカレ個人戦、団体戦との開催に続いての開催は、運営メンバー、学生の負担を考え西宮では無理であるにご連絡頂いている。来年は、様々な大会が開催予定であり、時期・開催場所を皆様と協議したい。

（内田副会長）現在の検討状況説明

2026年度の日程予定

全日本スナイプ級ヨットマスターズ選手権大会

2026年度6月6日～7日 広島県 観音マリーナ

全日本スナイプ級選手権大会

2026年度8月5日～9日 富山県 新湊ヨットハーバー

（内田副会長）

全日本MIX・JRにおいては、毎年、学生が参加しやすい状況を考え毎年インカレ後開催をしていたが、2026年度は上記のように時期・場所を変える必要がある。どこかの水域で請け負って頂けるのであればお願いしたいが、皆様と協議したい。例えば、他のレガッタにあわせる（Enoshima Week）等も検討にいれてもよいかとも考える。（但し、2週間後マスターズ開催）

（石川中部水域代表）

11月初めであれば蒲郡開催は可能。（10月末迄はハーバー使用開催NGとなっている）

（関口理事）

2026年は、学生の予定に関して10月9-11日個人戦、14-18日団体戦 @西宮

多くの11月3/4日の週に西宮に船を運び、そこから3週間西宮にとどまるのは、かかる経費の問題、また学期スタートのタイミングであり、学業最優先である学校が多いので時期の見直しがよいかと考える。

（西村琵琶湖水域代表）

三週連続は学生を考える難しい。琵琶湖で立候補したいが、藻がひどすぎる状況で、立候補できない。

（笹井副会長）

場所も時期も替えるのがよいかとおもいますが11月初めか、江の島ウィークに開催についてはどうか皆さんと協議したい。

（関口理事）

11月は学生を考えると代が代わり、不安定な状況であるかとも思う、大会としては江の島も数はあつまるが、江の島ウィークに開催を大会としてどう考えるかということかと思う。

（内田副会長）

江の島ウィークに開催とすると、京黒PR0に確認が必要。全日本大会として整ったレガッタでやるなら蒲郡開催はよいのかと考える（みつからない場合、江の島ウィークで検討）

(関口理事)

現在、西居会長と共に学連の評議委員を担っているが、インカレ日程に関して大幅な見直し案が論議されており、個人、団体戦を2週連続開催する可能性ある(2018年以降)2028年度以降、インカレは個人戦、団体戦と連続して開催となるので、スナイク協会としても大会日程を再考する必要がある。

1. 11月初め@蒲郡
2. 江の島ウィークと併催
3. 5月初め@蒲郡→(こちらは日程調整が不可能と判断)

以上の案から11, 12月蒲郡開催が濃厚だが、12月上旬に上記最終協議、結論を出すことで一致。

第2号協議 2028ワールド 日本開催における開催地、日程について

(笹井副会長)

2028年度の日本開催において、蒲郡か江の島のどちらかで開催を協議したい。

(内田副会長)

江の島開催となると、時期を選ぶ必要がある。コストの問題。交通・宿泊費高騰を考える必要がある。予算規模約1千万円、2. 3年前より準備が必要。

(笹井副会長)

準備委員会をつくる必要がある。

(石川中部水域代表)

12005年に蒲郡にてスナイクワールド開催。人員確保はできる。お金の準備等事前準備が必要であり、よく考える必要がある。現在、積極的立候補は考えてない。

(杉山理事)

蒲郡が場所等を考えるとよいのかなあと考える。

(富松理事)

西半球の際にSCIRAの方と少し会話が合ったが、最近の江の島は観光客も増え、宿泊費高騰等で窮屈さを感じると、蒲郡もよいかと考える。

(内田副会長) (笹井副会長)

来年の3月迄にどちらかでやる事を決めたい。その際には準備委員会を作成する。

また、ミックス・ジュニアについて再び検討が行われた。

(石川中部水域代表)

各水域の日程をしりたい。関東の予定が1月に確定となり、その後各水域が日程調整となると、春は難しい。11月が濃厚かと考える。

(関口理事)

来年は各水域予選が前にずれると考えるので、11月開催の可能性が一番ある。

(内田副会長)

11月以降、蒲郡にて開催出来る日程を調整が現実的かと考える。

(笹井副会長)

ミックス・ジュニア、2028ワールドについては、12月中旬までに会議を予定、また、その時までにワールド準備委員会を設立する。

以上で一致。

第3号協議 規定WG、および協会としての新事業の進め方について  
(笹井副会長)

規定のタスクを進めていきたい。藤田さんとともに規約WGを進め、数人で検討していこうと考えるが、参加頂ける方は個別に連絡頂きますようお願いいたします。

次回は、12月（中旬までに）会議開催予定。

以上